

保健体育

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
保健体育	保 健	1	1年次・全	必履修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
現代高等保健体育 （大修館書店）		現代高等保健体育ノート		1年次必修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けようとしている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	第1章 現代社会と健康	1 日本における健康課題の変遷	4	・健康指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解する。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。 ・健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。	1 3 1 2 1
			2 健康の考え方と成り立ち			
			3 ヘルスプロモーションと健康にかかわる環境づくり			
学 習 の 年 間 計 画	2 学 期		4 健康に関する意思決定・行動選択	5	・感染症予防の三原則について理解する。 ・性感染症・エイズの予防に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。	1 2 1 3 1 2 3 1 2 2 1 2 3 1 2 1 3 1 3 2 3 1 2 3 1 3
			5 現代における感染症の問題	6		
			6 感染症の予防			
			7 性感染症・エイズとその予防	7		
			8 生活習慣病の予防と回復	9		
			9 身体活動・運動と健康	10		
			10 食事と健康			
			11 休養・睡眠と健康			
			12 がんの予防と回復	11		
			13 喫煙と健康			
			14 飲酒と健康			
			15 薬物乱用と健康			
			16 精神疾患の特徴	12		
			17 精神疾患への対応			
	3 学 期	第2章 安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因	1	・交通事故防止には個人の取組と交通環境の整備が必要であることを理解する。 ・応急手当の意義と、その手順や方法を身に付ける必要性について理解する。 ・救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解する。 ・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。	1 2 3 1 3 1 2 3 1 2 3 1 2 1 3
			2 交通事故防止の取り組み			
			3 安全な社会の形成			
			4 応急手当の意義と救急医療体制			
			5 日常的な応急手当	2		
			6 心肺蘇生法	3		

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	○健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	○生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かな活力ある生活を営む態度を養う。
	手 段	・授業中の態度の観察 ・提出物の提出状況	・授業中の応答の観察 ・定期考査とレポート	・問題演習 ・定期考査
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		・関心・意欲・態度を平常点とし、平常点：定期考査を30：70の割合で評価する。	
	学習上の留意点	・基本的に教科書中心に授業を展開するので、教科書を読むなどの予習をしておこう。 ・授業ノートなどの提出物はすべて提出しよう。 ・ノートや演習問題は確実に仕上げよう。		